

フランクフルト海外安全対策情報
2015（平成27）年1月～3月

1 治安情勢の傾向

3月18日、反資本主義グループであるブロキュパイによる大規模デモが行われ、フランクフルト市内各地において、警察署や商店街への襲撃やパトカーが放火されるなどの騒擾事案が発生した。

また、毎週月曜日、フランクフルト市中心部において、反イスラムを掲げるグループによるデモとこれに反対する対抗デモが行われている。これらのデモは縮小化傾向にあるものの、これまで一部の参加者が暴徒と化し、警察部隊と衝突するなどの騒乱が生じており、今後も注意を要する。

2 一般犯罪の傾向

フランクフルト市内ホテル、中央駅、空港、電車内、メッセ会場等において、邦人被害に係るすり及び置引きが断続的に発生している。

3 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

邦人被害の事件は認知していない。

(2) 強盗

邦人被害の事件は認知していない。

(3) 強姦

邦人被害の事件は認知していない。

4 テロ・爆弾事件発生状況

邦人被害の事件は認知していない。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件は認知していない。

6 対日感情

良好である。

7 日本企業の安全に係る諸問題

具体的情報に接していない。